耐風診断調査票（一次診断）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対　象 | 項　目 | 記　入　欄 | | |
| 一次診断者 | 所属名 |  | | |
| 診断者名 |  | | |
| 所在地 |  | | |
| 連絡先 |  | | |
| 申請者氏名 | 氏名 |  | | |
| 建築物概要等  (ヒアリング) | 所在地 |  | | |
| 竣工時期 | 築年数　　　年（竣工時期：西暦　　　　年）　□不明 | | |
| 増築有無 | □無　□有　増築部築年数　　　　年　　　概要： | | |
| 階数 | □平屋建　□２階建 | 屋根勾配 | □６寸以下　□急勾配 |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　） | | |
| 屋根材 | □粘土瓦　□ＰＣ瓦　□Ｊ形　□Ｆ形　□Ｓ形  □不明　　□瓦以外の屋根材 | | |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期　西暦　　　年　　概要： | | |
| 屋根不具合 | □無　□有　□雨漏り　□漆喰はがれ　□その他（　　　） | | |
| 屋根診断  (地上からの目視等) | 全体調査 | 屋根　□被害がある　□変形・歪みがある  瓦　　□飛散　□崩れ　□破損　□ずれ・浮上がり  □接着剤の流出痕がある　□その他（　　　　） | | |
| 適合診断 | □上記の「全体調査」に該当する項目がある | | |
| □2001年以前に施工され、屋根改修がされていない | | |
| 工法　□土葺き　　　　□不明 | | |
| 種類　□非防災タイプ　□不明 | | |
| □緊結方法：下図に該当する    ボルト・ビス等  による緊結がない  配置が蛇行し、留付けされていない可能性有  ビス・銅線等  による緊結がない  ビス・銅線等  による緊結がない | | |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い  （上記「適合診断」に該当する項目がない）。 | | | |
| □耐震性・耐風性を確認するためには二次診断の実施が必要  （上記「適合診断」に該当する項目が1以上ある）。 | | | |
| 備考 |  | | | |

耐風診断調査票（二次診断）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対　象 | 項　目 | 記　入　欄 | |
| 調査担当 | 所属名 |  | |
| 診断者名 |  | |
| 診断者資格 | □建築士　□瓦屋根診断士　□その他（　　　　　　　　　） | |
| 所在地 |  | |
| 連絡先 |  | |
| 申請者氏名 | 氏名 |  | |
| 対象建物 | 所在地 |  | |
| 瓦内容 | □Ｊ形　□Ｆ形　□Ｓ形　□ＰＣ瓦　□防災瓦　□非防災瓦 | |
| 工法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□不明 | |
| 平部 | 桟瓦の  留付け | □全数　□千鳥緊結　□（　）枚おきに留付け　□無緊結　□不明 | |
| □くぎ　□ねじ　□緊結線　□不明　□ガイドライン標準仕様  □Ｆ形かつ非防災瓦である場合、くぎ等２本以上で緊結 | |
| 劣化等状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明  部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷 | |
| 軒部 | 軒瓦の  留付け | □全数３点緊結  尻部（２本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  補強（１本以上）：□パッキン付ねじ　□７形くぎ　□緊結線  □ガイドライン標準仕様　□全数補強なし　□補強なし　□不明 | |
| 劣化等状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷 | |
| けらば部 | 袖瓦の留付け | □全数３点緊結  尻部（２本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  補強（１本以上）：□パッキン付ねじ　□７形くぎ　□緊結線  □ガイドライン標準仕様　□全数補強なし　□補強なし　□不明 | |
| 劣化等状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷 | |
| 棟部 | 棟内容  及び状態 | □冠瓦伏せ棟 | 冠瓦の固定：□全数留め付け　□（ ）枚おきに留め付け □なし□ねじ　□くぎ　□緊結線　□不明 |
| □のし瓦積み棟 | 大棟（ ）段　隅棟（ ）段　□下り棟（ ）段  冠瓦の固定：□ねじ　□トンボ　□なし　□不明  のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）　□なし　□不明 |
| 劣化状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明  状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き | |
| 谷部 | 谷部の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明  状態：□瓦の浮き・ズレ・脱落　□板金の孔開 | |
| 改修が必要な部位 | | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□谷部 | |
| 診　断　結　果 | | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。  （上記「改修が必要な部位」がない） | |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。  （上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある） | |
| 備　　　　　考 | |  | |

※下線は令和２年国土交通省告示第1435号により改正（令和４年１月１日施行）された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

※改修が必要な部位が告示基準に適合する場合、その部位については補助対象外とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □屋根伏図　□その他（　　） | | |
| （写真を添付） | | （写真を添付） |
| 改修が必要な部位 | | 改修案 |
| □１階  □２階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |  |
| □１階  □２階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）　□谷部  □その他（　　　） |